

6 芸術（音楽）

学校番号

3002

平成29年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	音楽Ⅰ「Tutti」（教育出版）						
副教材等	MusicNote（進学者出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通して学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布したワークシートや実技テスト筆記試験で評価します。
- ・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみても価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっとみなさんの心の支えとして、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	題 材 名	学 習 内 容	主 な 評 価 の 観 点				題 材 の 評 価 規 準	評 価 方 法
			a	b	c	d		
1 学 期	イ メ ー ジ を も つ て 豊 か な 声 で 歌 い あ げ よ う ！ く 出 会 い の う た	【歌唱】 校歌 世界に一つ だけの花 心の瞳	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【器楽】 野菜の気持ち	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【器楽】 ペツォールト のメヌエット	○	○	○		a:リコーダーの音色や奏法に関心をもち、それらを活かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、音を重ね二重奏として表現してほしい。 c:表現したいことを伝えるためのリコーダー演奏の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファーストステップ	【鑑賞】 バレエ音楽 ボレロ(ラヴェル)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2 学期	〜音楽を聴く力をつけよう〜 鑑賞のファーストステップ	【歌唱】 浜辺の歌	○	○	○	<p>a:「浜辺の歌」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:「浜辺の歌」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもってしている。</p> <p>c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取	
	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【器楽】 ひらいたひらいた さくらさくら	○	○	○	<p>a:リコーダーの音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもってしている。</p> <p>c:リコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取	
	リコーダーで日本の民謡を演奏しよう	【鑑賞】 グレゴリオ聖歌 交響曲第9番 (ベートーヴェン) ビートルズ	○			○	<p>a:それぞれの国や郷土、時代背景の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	観察 ワークシート
	音楽の歴史に触れてみよう	【器楽】 夢の中へ	○	○	○	<p>a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。</p> <p>c:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取	

	ギターで弾き語りに挑戦してみよう	【鑑賞】 オペラ「魔笛」より「恋人か女房か」(モーツァルト)	○			○	a:総合芸術オペラの特徴に、関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリア「誰も寝てはならぬ」とその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
3学期	鑑賞のステップアップ 声の魅力を探ろう	【歌唱】 サンタルチア(斉唱・原語)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【鑑賞】 長唄『勸進帳』から「これやこの」	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本文化の特徴を知ろう	【歌唱】 大地讃頌(混声4)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能(発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	味わおう							

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

